

# 霧が丘地区

霧が丘地区別計画推進委員会

## 地域 霧が丘1～6丁目

区の西方に位置し、南側は旭区に接している。昭和54年に日本住宅公団（現在の霧が丘グリーンタウン）の1次入居が始まり、昭和56年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街。計画的に整備されていることが特徴的。緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は南側に隣接する新治市民の森に続く。住民の活動の場所として平成20年に横浜市初の小学校跡の建物利用として複合施設「霧の里」がオープンした。

### <主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：霧が丘小学校（旧霧が丘第二小学校）、旧霧が丘第三小学校

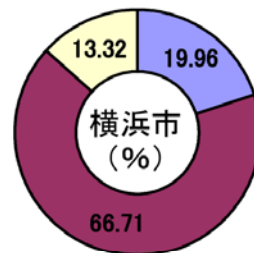
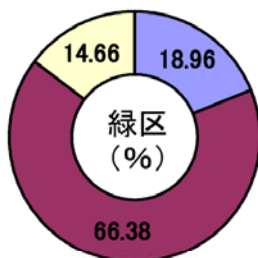
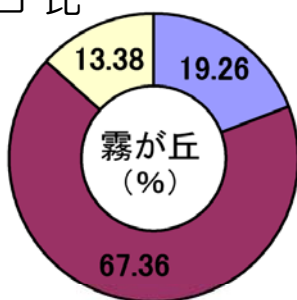
地域ケアプラザ等：横浜市霧が丘地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

平成23年(2011年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



|        |         |
|--------|---------|
| 75歳～   | 738人    |
| 65～74歳 | 1,568人  |
| 15～64歳 | 8,065人  |
| 6～14歳  | 1,036人  |
| 0～5歳   | 566人    |
| 合計     | 11,973人 |

|        |          |
|--------|----------|
| 75歳～   | 14,370人  |
| 65～74歳 | 19,186人  |
| 15～64歳 | 117,467人 |
| 6～14歳  | 16,000人  |
| 0～5歳   | 9,942人   |
| 合計     | 176,965人 |

|        |            |
|--------|------------|
| 75歳～   | 336,653人   |
| 65～74歳 | 403,089人   |
| 15～64歳 | 2,472,006人 |
| 6～14歳  | 300,920人   |
| 0～5歳   | 192,789人   |
| 合計     | 3,705,457人 |

### 地区別計画推進委員会の開催状況

#### 第1回

平成23年7月23日

18:00～19:00

霧が丘コミュニティハウス

- 計画の概要説明
- 現在の活動状況の確認や今後の取組についての話し合い

通信No.1発行

#### 第2回

平成24年12月17日

19:00～21:00

霧が丘コミュニティハウス

- 今年度の活動状況の確認や来年度以降の取組についての話し合い

通信No.2発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成23年度地区別計画推進状況



# 霧が丘地区

霧が丘から  
「**住みやすさ1番緑区**」を目指して！

霧が丘地区では現在行われている様々な活動について、高齢者支援を中心に継続・発展させることで人との「つながり」の輪を広げていこうと取り組んでいます。

毎年9月と1月に実施される「総合防災訓練」や、毎月実施されている「健康チェック」など、地域住民にとって重要な課題である「災害」や「健康」をテーマに、霧が丘地区の活動拠点である「霧の里」を中心に積極的に活動を行っています。



(写真：「総合防災訓練」の様子)



(写真：「健康チェック」の様子)

今年度はさらに、特別防災週間を設け、防災についての展示会や講演会を行うなど、東日本大震災を踏まえ、新たな取り組みも行われました。

また、地域の安全と住みやすさを向上させるため、防災のみならず、交通安全教室の開催や高齢者の配食サービスなどの

取組も継続・発展させ、霧が丘から「住みやすさ1番緑区」を目指して活動の輪を広げていきます！

「霧が丘地区別計画推進委員会通信」では、地域の具体的な取組や委員会で挙げられた意見などを紹介しています。ぜひご覧ください。



霧が丘地区別計画推進委員会



霧が丘地区別計画推進委員会  
平成23年8月発行

## 霧が丘地区別計画推進委員会通信 No. 1

みどりのわ・ささえ愛プラン（緑区地域福祉保健計画）の霧が丘地区別計画の推進に向けて、平成23年7月23日（土）午後6時から霧の里で、「第1回みどりのわ・ささえ愛プラン 霧が丘地区別計画推進委員会」を開催し、現在の活動の状況の確認及び今後の取組について話し合いを行いました。

### みどりのわ・ささえ愛プラン 霧が丘地区別計画って？

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

この中の「地区別計画」は、日々の暮らしの中で身近な地域で起きている課題の解決に向けて取り組む計画で、緑区では11連合自治会ごとに定めています。

霧が丘では、昨年、地域の13自治会からメンバーが集まり、「霧が丘地区別計画策定会議」を開催し、検討の結果、「霧が丘地区別計画」を策定しました。



### 霧が丘地区別計画

霧が丘地区では、現在さまざまな活動や取組が行われています。霧が丘地区別計画では、現在行われている取組について、高齢者支援を中心に、継続・発展させていくこととしています。

#### 現在の課題

- ・現在行われている、活動・取組の継続及び発展が、今後の活動の中心となる課題。
- ・活動の担い手・受け手の双方を増やしていくことも課題のひとつ。
- ・地域の方々に活動・取組を周知・浸透させるための情報発信も課題。



#### 今後の取組

- ・現在行われている取組を継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- ・広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- ・「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。

## ◇霧が丘地区別計画推進委員会って？

委員会のメンバーは、連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々15人から構成されています。委員会では、「みどりのわ・ささえ愛プラン 霧が丘地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行っていきます。

## ◇第1回霧が丘地区別計画推進委員会での意見交換の内容

◆◆現在の取組み状況や課題について発言していただき、意見交換を行いました。

### 委員の方々の主なご意見

- ・地域ケアプラザで毎月行っている「健康チェックの日」の活動に、若い方が参加してくれるようになってきた。今年度も機会を増やして推進していく。取組みを継続していくことで地域の活気づけにつなげたい。
- ・活動を周知し、参加してもらうことが重要。現在行われている活動すべてを重点化するのは難しいので、取組がどこまで地域に浸透しているか分析・検証しながら重点化する活動を精査していくべき。
- ・地域のニーズから、地域住民の健康の維持・増進を図る取組みが行われてきた。今後は、高齢者の集う地域サロン（ミニ・デイサービス）を、連合自治会、地区社協と霧の里（地域ケアプラザ及びコミュニティハウス）で共催することで、地域のつながりの促進や、課題の把握につなげたい。
- ・地域ケアプラザができて3年たつが、いまだに利用したことがない高齢者もいる。現在行われている取組がどんなものか、どれくらい高齢者や地域にとって役立つものなのかを自分で考えてもらうためにも、一度来てもらうことが大事。
- ・参加することで、マナー向上や自分が果たすべき責任について考える機会にもなる。その点では地域サロンの開設の取組は、すべてをボランティアが行うのではなく、片づけなどを自分で行ってもらうとか、低額での有料化などにより、利用者も運営に参加していく形を考えてもよいのでは。
- ・現在の取組を維持していくだけでも難しいところがある。取組を増やすとしても担い手を作らなければならない。やれることとやれないことをきちんと考えていく必要がある。
- ・理美容サービスについては、地域の協力の元、やっと実現にこぎつけた。配食サービスも利用者が増えれば人手が必要となる。現在の取組を中心にして、やるのであればきっちりやれるように活動していきたい。



《第1回推進委員会の様子》



現在の取組を維持・継続しながら、できることをしっかりやっています！

#### <連絡先>

霧が丘地区別計画推進委員会  
事務局 TEL：930-2307  
（緑区 高齢・障害支援課長）



霧が丘地区別計画推進委員会  
平成24年1月発行

## 霧が丘地区別計画推進委員会通信 No.2

みどりのわ・ささえ愛プラン（緑区地域福祉保健計画）の霧が丘地区別計画の推進に向けて、平成23年12月17日（土）午後7時から霧の里で、「第2回みどりのわ・ささえ愛プラン 霧が丘地区別計画推進委員会」を開催し、今年度の活動状況の確認と来年度以降の取組について話し合いを行いました。

### みどりのわ・ささえ愛プラン 霧が丘地区別計画って？

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

この中の「地区別計画」は、日々の暮らしの中で身近な地域で起きている課題の解決に向けて取り組む計画で、緑区では11 連合自治会ごとに定めています。

霧が丘では、昨年度、地域の13 自治会からメンバーが集まり、「霧が丘地区別計画策定会議」を開催し、検討の結果、「霧が丘地区別計画」を策定しました。



### 霧が丘地区別計画

霧が丘地区では、現在さまざまな活動や取組が行われています。霧が丘地区別計画では、現在行われている取組について、高齢者支援を中心に、継続・発展させていくこととしています。

- ・現在行われている取組を継続し、必要に応じて見直しを含めた再構築を行い、よりよいものに発展させていく。
- ・広報「霧が丘」、「防犯・防災・環境ニュース」の発行等による情報発信を行い、地域の方々に霧が丘で行われている活動について周知するとともに、参加者や担い手の増加につなげていく。
- ・「みどりのわ・ささえ愛プラン」の周知を行い、プランと霧が丘の取組の関係について、情報を発信していく。

### ◇霧が丘地区別計画推進委員会って？

委員会のメンバーは、連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々15 人から構成されています。委員会では、「みどりのわ・ささえ愛プラン 霧が丘地区別計画」（平成23 年度～平成27 年度）の推進に向け、取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行っていきます。

## ◇第2回霧が丘地区別計画推進委員会での意見交換の内容

◆◆今年度の取り組み状況や来年度に向けての課題について意見交換を行いました。

## 委員の方々の主なご意見

## 【今年度の活動について】

- ・計画の趣旨に基づき、従来からの事業をさらに良いものにしていくことを念頭に活動を行った。高齢者の会食会、子育てサロン、ひまわり教室（中途障害者の機能回復を目的としたリハビリ教室などの活動を実施）などは、参加者も増え、内容も充実してきている。また、ボランティアに登録していただいている方に向け、交流会や勉強会も開催した。
- ・今年度は特別防災週間を設け、防災についての展示会や講演会を行うなど、防災に向けての新しい取組を行った。防災訓練でも事前研修を実施するなど、東日本大震災を教訓に今まで以上に力を入れてきた。
- ・健康チェックの活動も例年通り実施しており、機会があれば参加を呼び掛けてきた。
- ・東日本大震災で防災に関心は寄せられているが、支援が必要な方の避難訓練では集合住宅の構造上の課題も明らかになっている。また、日中は支援の担い手も確保が難しい。自治会への未加入者も存在するので、情報の発信も含め、発災時に本当に助け合いができるよう、本腰を入れて取り組む必要がある。

## 【来年度の活動について】

- ・ボランティア登録が増えているので、来年度はボランティア相談室の取組に力を入れて、受付件数を増やしていきたい。
- ・健康チェックの参加者をさらに増やすことができるよう、周知に取り組み、一人でも多くの方に関心を持ってもらいたい。
- ・地域ケアプラザは今年度力を入れてきた福祉相談について、来年度も健康チェックの場などを有効活用して取り組みたい。そのために保健活動推進員の方と連携して健康チェックの広報や質の向上に取り組みたい。
- ・防災への取組はもちろん、地域の住みやすさを向上させるため、交通安全教室などの取組も引き続き行っていく。
- ・来年度以降も、現在の取組を中心にしてできることをやっていく。高齢化率が20%近くなる中、自分のことだけでなくお互いに助け合える地域になるよう、少しずつ改善しながら活動していきたい。



現在の取組を維持・継続しながら、できることをしっかりやっています！



《第2回推進委員会の様子》

<連絡先>霧が丘地区別計画推進委員会 事務局 TEL：930-2307（緑区高齢・障害支援課長 品田）